

3 議事

(1) 笠間市子ども・子育て支援事業計画について【平成27年度実績】

意見等	事務局等
<p><b>【子育て短期支援事業】</b></p> <p>○平成29年度から事業開始できるように準備とあるが、どの程度進んでいるのか。</p> <p>○ぜひ29年度から事業展開できるように願う。</p>	<p>○まずは乳児院と話を進めていきたいと考え、準備している。児童養護施設についても、なるべく近いところの施設から確保できるように進めている。</p>
<p><b>【子育て支援拠点事業】</b></p> <p>○指導員によって相談しやすい方・そうでない方がいる。</p> <p>○「みつばち」では、小学生の子には小学生の子を持つ指導員が相談に乗るなど、連携をとっている。</p> <p>○話を聞けない子が増えてきているので、話を聞ける子に育てる方法などの助言（実演）をいただけるとよい。</p> <p>○幼・小接続の観点でも、話を聞ける子になること、家庭で親が子どもの話を聞くことは重要である。</p> <p>○「みつばち」が移転したが、狭いと感じる。また、園庭解放は午前がよい。</p> <p>○確かに狭くなったが、遊具を整理してスペースを確保するなど工夫している。園庭解放についてはこども園との兼ね合いがある。</p> <p>○（「みつばち」で）もっと親子で楽しめるイベントがあるとよい。</p> <p>○新しい「みつばち」になって試行錯誤しながら検討していこうと思っている。</p>	<p>○利用者アンケートを実施し、改善に役立てることとする。</p>

<p><b>【病児保育事業】</b></p> <p>○小学生の受け入れは可能か。また、広く周知して欲しい。</p> <p>○普段から親しんで利用できる場所でも実施してもらえるとよい。</p> <p>○37度の発熱など軽い症状でも学校を早退させられるが、そのような軽い症状では利用できないのではないか。基準が明らかでないのが現状である。</p> <p>○保育所では基準もあるが、子ども一人一人に合わせて臨機応変に対応している。</p>	<p>○可能である。市立病院の病児保育、かさまこども園の病後児保育について、目途がつき次第PRしていく。</p> <p><b>【追記】</b></p> <p>○基準については要綱に盛り込む予定で進めている。</p>
--	---

(2) 多子世帯・要保護世帯（ひとり親世帯等）に対する保育料の軽減について

意見等	事務局等
<p>○小学校3年生までというのはどのようなことか。</p> <p>○この軽減とは別だが、1号の第4階層は所得の幅が広いので、細分化してはどうか。</p> <p>○他市町村ではすでに細分化や独自の基準で負担軽減を取り入れている。</p>	<p>○国の基準で、3年生までに兄弟がいれば、その子を第1子として第2子半額・第3子無償だが、4年生以上はカウントできないという制限があった。今回、階層に応じてその制限を撤廃することとなった。</p> <p>○階層は国に準じており、見直したばかり。今後疑義が生じた場合は検討していく。</p> <p>○県の上乗せの話もあり、周辺市町村の動向を見ながら検討していく。</p>

(3) 小規模保育事業の実施について

意見等	事務局等
<p>○事業費の規模としても大きなものとなる。友部地区が必要なのは理解できるが、岩間地区はどうか。</p> <p>○友部地区の需要は確かに多いが、岩間方面に通う親もいるし、必要ないとは言えないのではないか。</p> <p>○看護師を保育士としてカウントできるがあるが、病後児保育の実施を市から促すことは可能なのか。</p> <p>○職員の確保も問題である。保育士不足の中、建てても受け入れができないということにならないよう、きちんと見極めて進めるべき。</p>	<p>○現在でも預かり保育等で対応しているため、ニーズがあることは確認している。</p> <p>○小規模保育は0歳～2歳までなので、小学生まで受け入れなければならない病後児保育はできない。</p>

(4) 笠間市立保育所・認定こども園の民営化方針（案）について

意見等	事務局等
<p>○教育的連携の具体的事業とはどのような</p>	<p>○職員同士の研修、保護者に対する講習、子</p>

意見等	事務局等
<p>ものか。</p> <p>○民営化によって財政負担が軽減されることはよいが、デメリット等も提起していくことも重要ではないか。</p> <p>○保育士の雇用を、午前中のみや午後のみという形態も認めてくれると働きやすくなると思う。</p> <p>○保育士についてはすでに多様性をもった雇用形態を採用している。</p> <p>○委譲・連携の決定機関はどこか。方針への記載はしないのか。</p> <p>○デメリット等がどのように処理されていくかについて追記したほうがよい。</p> <p>○順次計画が進んでいく中で、デメリット等が出てくると思う。それらを次の施設にフィードバックできればよい。</p> <p>○友部特別支援学校でも、連携の中の研修等に協力できるかもしれない。</p> <p>○パブリックコメントとはどのように進んでいくのか。</p>	<p>どもと学生の交流などを考えている。</p> <p>○もちろん計画が先走るわけではなく、保護者の了解を得ながら進めていく。</p> <p>○選定委員会を作り、パブリックコメントを実施して進めていく。手段になるので、方針（案）には入れていない。今後別途広報していく。</p> <p>○検討して追記した形でパブリックコメントを実施する。結果については次回報告したいと考えている。</p> <p>○パブリックコメント条例に基づき、案を広報・公開して幅広い意見を募り、方針・計画に反映していく。</p>

(5) その他

意見等	事務局等
<p>○一時保育や子育て包括支援センター「みらい」についてもっとPRしてはどうか。</p> <p>○友部特別支援学校のどんぐり教室では、保護者の交流会が好評で、どんぐり教室利用者以外からも希望が出ている。今後保健センターなどで広げていければと考えている。</p>	<p><b>【追記】</b>○ホームページや広報紙等でPRを検討する。</p>

次回会議日程

平成28年8月ごろを予定。